

校區別まちづくり部会

～ 報告書 ～

平成 2 1 年 1 2 月

犬山市・犬山市総合計画審議会

1. 実施概要

(1) 目的

実際にその小学校区で“住む”、“働く”、“活動する”方の視点から、将来のまち（小学校区）に対する具体的な提案をしてもらい、第5次犬山市総合計画の策定にあたっての参考意見とします。

(2) 内容

各回のプログラムは次のとおり

説明・報告	<ul style="list-style-type: none">・ 総合計画ってなあ～に？・ 各小学校区から見た犬山市の姿（市民意識調査結果概要報告）・ 市民懇談会からの主な意見・提案（市民懇談会概要報告）
意見交換	<ul style="list-style-type: none">・ 各小学校区の将来に向けた提言

(3) 開催経過

市内10箇所（小学校区）にて開催

校区	会場	開催日	参加者数
犬山南	犬山南地区学習等供用施設（集会室）	10月14日（水）	45名
羽黒	南部公民館（展示室2・3）	10月15日（木）	30名
東	東小学校（体育館）	10月20日（火）	35名
今井	今井老人福祉センター	10月22日（木）	50名
池野	池野老人憩いの家	10月27日（火）	28名
楽田	楽田ふれあいセンター（多目的ホール）	10月29日（木）	41名
城東	城東地区学習等供用施設（集会室）	11月5日（木）	33名
犬山西	上野地区学習等供用施設（集会室）	11月11日（水）	51名
栗栖	栗栖小学校（体育館）	11月17日（火）	43名
犬山北	福祉会館（303・304会議室）	11月18日（水）	37名

各回とも午後7時開会

(4) 主催

犬山市・犬山市総合計画審議会

報告書のまとめ方

記載順

開催日順に小学校区ごとに、各会場での提案等を記載しています。

意見の記載方法

意見は、内容別に区分しているのではなく、発言者ごとに一つにまとめてあります。

(1人で複数の意見を発言した場合は、1つの枠内に記載してあります。)

意見区分

提案された意見は、第5次犬山市総合計画の施策体系(案)を基本に、以下の41項目に整理(区分)しています。

歴史・文化財	スポーツ	公共交通
文化	健康	上水道
自然環境	地域福祉	下水道
農業	高齢者福祉	公園緑地・緑化
商業	子育て支援	住宅・宅地
工業	障害者(児)福祉	環境衛生
観光	社会保障	循環型社会
勤労	治山・治水	行政運営
市民交流	防犯・交通安全	情報共有
市民協働	防災	財政運営
平和・共生	消防・救急
消費生活	医療	全般
学校教育	市街地・景観	計画策定
社会教育	道路・橋りょう	その他

2. 校区別の意見要旨

(1) 犬山南小学校区

まちづくり団体に入っていて、今年開催される秋まつりで駐車場問題が懸念されている。無料駐車場160台があるが土日曜日には8万人が来ており、今後も台数が足りなくなると思う。例えば、五郎丸に駅を作り、バスで搬送するパークアンドライドを考えてはどうか。歩いて行く人も多いと思う。【公共交通】

(市) 更なる発展には駐車場計画が必要だというご提案であり、将来的にどのようにしていくのか、第5次犬山市総合計画にも盛り込んでいかなければいけないと考えます。

重点方針に「市民とともに作る計画」とあるが、市民と行政が共有できる計画は良い。【計画策定】
昔はユニーやサンマートがあった。イトーヨーカドーは借家でいつ撤退されるかわからない。市民の買い物先として、今後の商業について検討願いたい。【商業】

市民意識では「観光のまち」という意識が高いが、まちづくりの意見交換の中で意識が低い。南部の観光にも意識を置き、観光にはトイレは必要不可欠であるため、施策評価ワースト1のバリアフリーなども今後進めて欲しい。教育の講演で、素手でトイレを掃除するという話があったが、校区の中の観光として、犬山口にもトイレが欲しい。【観光】

(市) 犬山口にトイレがないという話は伺っています。駅整備とともに今後考えていきたいと思います。

将来を担う子どもたちに視点をあてる必要がある。見て、感じて、体験することで子どもを育てる場が必要である。退職された方に活動する場を与えて、生きがいを持ってもらい、趣味を活かしてもらえると良い。犬山城下町を歩いて、写真を撮り、和菓子づくりを体験するなど。感動する子を育てることをまちづくりに位置づけて欲しい。また、学校教育では、知的な面で力を注いでいるが、音楽・美術など一級品に触れることが必要であり、情操教育にも力を注ぐまちづくりに期待したい。【学校教育】

(市) 子どもは遊びには天性のものがあります。遊びを通じて子どもは成長し、仲間づくりをします。ご意見のとおり、教育活動に入れていくべきと考えます。

(市) 学校教育では、知育、徳育、体育、食育のバランスをとることが必要であり、犬山市もその考えのもとに活動しています。一流一級品のものを見るものとして、観劇

やオーケストラなどの試みが必要と感じています。また、多種多様な技術を持つ退職された方が地域にいるため、学校の中でもそういう方に協力いただき、地域の中の学校をさらに強調したいと考えます。

総合計画はマニフェストだと思う。市が市民に対して何年までにこれをやると言い、市長が代わっても変わらないものをここに載せてもらいたい。【計画策定】
市民は地区でいろいろな意見を言うが、市でそうした意見を一元的に受け入れる窓口を設けることで市民の意見を受け入れられるようになる。【行政運営】
総合計画にはもっと具体的な言葉で盛り込んでもらいたい。【計画策定】

(市) 総合計画は、12年先にこんな犬山にしたいということを表すものです。中でも基本構想は、こんな犬山にしたいという皆さんの考えの積み上げという意味合いで大きい理念を掲げるものであり、それを実現するための細かい施策が基本計画です。

歴史の件について、テレビで大口街道が通っている話をしていた。この前、小松屋さんに聞いたら、裏に犬山城から来る道があると聞き、それは残していきたいと思った。古地図を持って歩くことが大事だと思う。小牧長久手の戦いで五郎丸の辺りは焼かれた歴史もある。是非、市民の側の歴史、生活の知恵を掘り起こしていくのも大事である。
【歴史・文化財】

まち並みを守る会など行ってきたが、犬山南地区では観光は難しい。しかし、歴史的なものは多く、古い家屋が34軒くらいある。尾張犬山七福神めぐり構想を持っていたが、やなぎ街道と大口街道の交わりに碑を建てると良い。犬山南地区も掘り起こせば良いものが出る。調べると面白いものがある。【歴史・文化財】
下本町のビル街の問題について、住んでいる人に聞いて良い対策を講じて欲しい。郡上八幡にはみやげ、観光物産館がある。そういうものが下本町にもあると良い。【商業】

(市) 神社・仏閣、和菓子など歴史、文化伝統があるのが犬山南地区かと思います。そういうものを活かして住民と行政が協力していかに取り組んでいけるか総合計画に位置づけてまちづくりを進めていくことが必要と理解しました。

(市) キーワードとしてバリアフリー、地域固有の資産を活かしたまちづくり、観光立国ということを経済省も掲げており、通じる話かと思いました。ご提案のことは、やはり地域の方々に探していただくことが一番強いインパクトがあると思います。市にも忍者道の問い合わせが何本もありました。そういうものをうまく活かして観光を取り上げることも必要です。堀部邸の話も北の地区を含めて犬山城下町の堀部邸と位置づけ、まずは大きな人の流れがあって、その上で地域固有のものを巡っていくことを考えています。

(市) 商業振興について、どんでん館、空き店舗対策を本町あたりで実施していますが、今年度は下本町から犬山口一帯も空き店舗対策をとり、にぎわいを取り戻していきたいと考えています。

南のまちづくりとして、歴史と観光の話があった。犬山市内の地域の特徴を生かしていくことも必要だが、一方で、地域に住んでいる方の満足度をいかに高めていくかが重要である。満足度の低い施策に商業の振興が挙がっている。犬山は食べる所がない、遊ぶ所がないと昔からよく言われている。41号沿線を含めて橋爪・五郎丸地区の土地の利活用のあり方について、犬山市全体の産業活性化に向けたまちづくり戦略として位置づけるべきである。総合計画への位置づけが第一歩である。【商業】

(市) 土地利用のあり方については、総合計画においてどのように位置づけるかは別としても深い議論をしていきたいと思います。

南地区はお年寄りのまちである。私は犬山口で降りて本町まで歩いてもらうことが一番理想だと思っている。名古屋の大須付近ではトイレがなく、看板を付けて「このトイレ使ってください」と案内している。町内の住民の方の協力を中心にしてまちづくりをやればスムーズに行くと思う。【市民協働】

商業の振興の満足度が低いという説明があった。伝統文化は南地区にもあるが、どうしてうまくいかないかと言えば、仕事が無いからである。観光客に見せるだけではお金にならないし続かない。若い人は、技術のあるものを欲しがっている。若い方はゆっくり歩きたいと思っている。名鉄が作成した地図は、犬山城から犬山口までの地図になっていないので、犬山口駅があることを知らずに犬山遊園に戻られる方もあった。犬山口までを地図に入れてもらって、犬山遊園から犬山口まで歩いてもらう。【観光】
また、現実になる夢を与えていかないといけない。犬山も何が商業振興の妨げになっているのか掘りさげていくべきである。【商業】

(市) 名鉄の地図に犬山口まで入れることは検討していきたいと思います。商業の振興は課題であり、商工会議所等も頑張っているが、最近では会議所への入会も少ないと聞いています。イトーヨーカドーは全国で30店舗が閉鎖するが、その中に犬山店が入っていないと確認しています。イトーヨーカドー等も採算が厳しいということであり、また、市街化調整区域の大規模店舗の開発も規制が厳しい昨今においては、今後は駅近くの商業環境が脚光を浴びるものと考えています。

(市) 産業観光のほか、商業観光について、将来的な位置づけ、施策を総合計画に盛り込んでいただきたいというご意見として承ります。

例えば「犯罪のない安全なまちづくり」と書かれていれば、それに対して市が10年間でこれをやりますということを出して欲しいということを理解してほしい。【計画策定】

(市) 総合計画の中には基本計画という部分があり、その中で今のご質問には応えていきたいと考えます。

(2) 羽黒小学校区

平成14年から犬山市は本当に安心か安全なのか考え、警察と行政が分かれて対応するものではないと思った。平成15年から犬山市では警察が安全安心に取り組んで現在に至っている。議員は突き進んでやっているのか。犬山が安全の核となり、各務原や大口や周りの町を守って欲しい。3年・5年かかってもスクラムを組んで行政は行って欲しい。【防犯・交通安全】

医療の問題について、アメリカではガンが死亡原因のトップから落ち込んだ。調べてみるとガン対策に力を入れて取り組んだためであり、日本もそう対応して欲しい。【医療】
休耕田がたくさんあるので有効に活用して欲しい。野菜を子ども達に食べさせてやりたい。【農業】

羽黒保育園横の踏切が狭い。先日通った時に踏切のポールが1本折れていた。車や歩行者が通り混むので踏切を広くして欲しい。近所には、踏切はあるが東西に大型車両が行き交う幅の踏切がないため何とかして欲しい。【道路・橋りょう】

羽黒には開業医が多く便利だが、高齢化に伴い中央病院のほかにもう1つ大きな総合病院を作りたい。【医療】

(市) 名鉄の踏切に狭小なものが多い状況について、将来的には道路整備にあわせて踏切整備の検討も進めていきたいと思えます。

50年前から踏切は狭く変わっていない。【道路・橋りょう】

ごみ問題について、ごみ焼却場が今井に決められたのはどういう経緯からか。大口や扶桑で対応する方が良いのではないか。広域で一体的に行った方が良い。ごみ焼却場を山の方に建設すると狭い桜街道交差点の通行量が一層増える。道路行政よりもそういうことの方がまず先でないか。【循環型社会】

(市) 現在の犬山市の焼却場は25年以上経ち、2市2町の協議で将来に向けて新施設の整備が必要だということで計画していますが、候補地選定が困難で各市町で候補地1ヶ所以上を提案し、どこが良いか検討している段階です。今後、検討委員会により4候補から絞り込みをしていく予定です。インターネットや担当課の方で広域ブロック会議の協議内容が見られるのでご覧いただきたいと思えます。

羽黒に住んで3年になるが、羽黒は小中学校から行事案内があり、日々学校活動が感じられている。校区別のまちづくりとして、小学校の特色を活かしながら計画づくりをされると良い。中学生まちづくりワークショップでも広報で拝見すると、面白い意見があり、とても良いと思った。【市民協働】

小牧東インターを利用して、羽黒、楽田へまっすぐ行ける道路を作って欲しい。大口町は道路整備されているが、羽黒から小牧東インターへはアクセスしづらい。せっかくインターがあるのだから、利用しやすい環境を整備してほしい。【道路・橋りょう】

(3) 東小学校区

西小学校区でコミュニティを立ち上げていると聞いている。東小学校区でコミュニティを立ち上げる上で条件はあるのか、どのようにして立ち上げたらよいか。【市民協働】

(市) 犬山市ではコミュニティは小学校区を基本としており、現在、城東、羽黒、楽田で設立され、西小学校区でも設立が進められています。どのように作るかについては、コミュニティの問題を把握し、行政ではできないニーズ・課題を拾い出し、地元で解決するために設立されています。行政による支援の例として、1世帯あたり3000円程度の会費を集めてもらい、その半額を市が補助していますし、人的支援についても今年度から新たに設置した地域活動推進課の中で行っています。

(審議会委員) 議員にもそのような声が寄せられており、東小学校区にコミュニティを作っていこうと地元の議員4人で相談しています。11月には有志を集めて進めていこうと動き始めています。地元の努力が大事であり、一緒に作っていききたいと思えます。

市内全域にバスを走らせる会に所属している。公共交通については、アンケートでワースト1になっており、市民懇談会からの意見としても拡充が提案されている。活動を始めて5年間が経ち、バスが2台になり路線も少しずつ拡充している。バスの時刻表が非常に見にくかったため、年配の方にもわかりやすいものにして欲しいとお願いしたところ、作ってもらったが全戸配布されなかった。市民に利用してもらうためのサービス精神があるのなら全戸配布にすべきである。また、バス停設置について市に書面を出しているが、継続して検討されているのかお聞きしたい。【公共交通】

犬山市が活気のある元気なまちになるためには、高齢者が元気に過ごせることが重要であり、そのためにはコミュニティバスが必要である。【公共交通】

(市) 今年の4月に批判を踏まえてより見やすいものを作らせていただいたので、皆さんに届くよう努力していきたいと思います。バス停についても継続して検討しており、運行検討見直し委員会を立ち上げたところであり、市民の要求にかなう検討を進めるため第1回会議を開きました。

名古屋から犬山市に来て28年になるが、犬山市は特徴がないと感じている。春日井市、小牧市はいろいろやっており、扶桑町でも文化活動をしている。犬山市は歴史などPRすべきことはたくさんあるが、表に出ていないのではないかと。近隣都市に負けないような歴史資産を核にした文化のまちができないものか。【歴史・文化財】

道の駅を作ったらどうかという案も聞く。犬山市のPRを兼ねて41号沿いに道の駅を作り、犬山をPR、農産物をPRしていくことも1つの方法である。それらを含めて、文化のまちを基本計画の柱にできないか。【農業】

犬山城の近くにある福祉会館がなくなればお城がきれいに見えるので、何とかならないものか。福祉会館を移して大手門を整備すればもっとPRできると思う。

【市街地・景観】

(市) 福祉会館は景観阻害要因の1つであるとは思いますが。城下町は電線地中化でまちが大きくなり、福祉会館や体育館を含めて城下町の景観を作ることが必要になると考えています。ただ、簡単に実施できることではないので、総合計画に位置づけて長いスパンで方向性を求めることが必要であると考えます。大手門を復元する方向性も必要だと考えています。

東小学校区は団地族が大半を占めており、年齢のアンバランスが非常に激しい。団地行政のそのものに問題があるが、同年代が一度に入居するので、人口構成や年代のバランスを考えて、各層の住民の意見をしっかりと聞きながらまちづくりをしていくことが必要である。【市民協働】

(市) 市民の意見をいろいろな機会で聞くことは重要であると認識しています。アンケートの実施、地区別懇談会の開催など総合計画の策定にあたっては細かく意見を聞いています。そのほかにも、いろいろな場面でいろいろな階層の人の意見を聞くべきではないかという意見に対して、町会長の意見を聞く機会を設けているほか、走る市政教室、出張所の提案箱などにより意見をもらっています。メールでも意見をもらっています。まだまだ意見を把握する機会を検討しなければいけないと認識しており今後も検討していきたいので、良い機会があれば皆さんからも提案をいただきたいと思っています。

この会の参加者には行政関係者が多く市民が出てこない。市民が出てくることよりも、行政が市民の中に入っていきべきである。地域の催しに積極的に参加し、市民と一体であるという姿勢を持っていけば、わざわざこのような会をする必要はない。【市民協働】犬山の駅やお城の場所をよく聞かれるとお店の人が言っている。シティマップのようなものがあれば良い。道路の標識も、都市計画やまちづくりの中で考えるべきである。

【観光】

車社会の中で、車に乗れない人が地域から出て行ってしまった。高齢社会ではまちづくりの中でそのような視点も必要である。買い物や病院に行けない人を団地では近所の人に乗せていっているが、行政でそのようなサービスはないのか。タクシーでは往復3千円かかり、年金生活では大変苦しい。団体の活動で援助はしているが、それだけでは追いつかない現状にきていることを行政は認識して欲しい。【高齢者福祉】

人に優しいまちづくりを、団地の中でも城下町でも考えて欲しい。行政の人は率先して地域活動に参加して欲しい。そうすれば切実な市民の声は必ず聞ける。【市民協働】

観光都市と言いながら、担い手である業者が城下町の中での取り組み知らない。連携が悪いのではないかと。多くの人に参加できるまちづくりが必要である。【市民協働】

乗り物のことなどを考えるとNPOを立ち上げなければいけないほど切羽詰っている。

コミュニティの活動を支援する体制づくりをお願いしたい。【市民協働】

前原台には下水道が整備されておらず、平成28年度に整備されるということで待っている。現在は浄化槽を自治会が管理しており、建築の際の敷地制限により1区画あたりの面積に余裕があるが、下水道が引かれると、区画が細分化してしまわないか心配している。高蔵寺団地では不動産業者が細分化して地域住民とトラブルになるなど現実に問題が出ており、行政が分割制限を設けている。豊かなまちづくりとして住環境の保全を行政的に配慮することができないか。【市街地・景観】

(市) 現在では200㎡を1つの単位として考えており、問題があるようであれば問題が起きないように対策を考えていきます。また、四季の丘など新しい団地では、地区計画制度によって1区画の規模を制限しているなど、住環境を守るための制度もあるので、地域の皆さんの意見を聞きながら方向付けをしていきたいと思えます。

(4) 今井小学校区

一番のネックは交通網である。高齢化の中で車を運転できない場合、コミュニティバスはあるが本数の制約があり利用しづらい。学校まで自転車で3kmくらいあり、山間で民家がないため、親が送迎している家が多い。親が仕事をする上でも制約になる。スクールバスの導入を検討してほしい。コミュニティバスとスクールバスを一体的に運用する方策を検討できないか。60歳くらいで時間的に余裕がある人もいるため、若い高齢者にマイクロバスの運転資格を取ってもらい活用する。地区にバスを買っていただき、経費を補助してもらい自分たちで運行することを支援してほしい。

【公共交通】【学校教育】

(市) 犬山市のコミュニティバスは2台で7路線を市内で循環している。毎日ではなく週に3日くらい、本数は1日に8便くらい、事業委託先であるあおい交通が運行しており、高齢者などの交通弱者を対象に駅や買い物、公共施設、病院などへの移動手段として利用してもらっています。今井地区では半分以上が高齢世帯であり、道路も暗く中学生が自転車で帰るには親御さんが心配するのはわかります。今井地区だけでなくいろいろな意見をいただいており、コミュニティバス検討委員会を立ち上げ、大きな枠組みをこの1年で検討していきます。公共交通網としての運用のあり方、高齢者の活用なども考えなくてははいけません。今井、池野、栗栖地区などもあり、コミュニティバスは犬山市の将来の課題として捉えています。

(市) 中学生の帰り道の安全性については問題を認識しており、学校と連絡を取りながら検討をしています。暗い道で帰る生徒には、部活動終了後に駅伝や陸上の練習をしている生徒が多いです。今井地区から城東中学校に通う生徒は19人おり、スクールバスも1つの選択肢としてありますが、試算では運行に年間300万くらいかかり、財政的な課題もあります。コミュニティバスを増便し、毎日運行されれば中学生の利用にも対応できるので、全市的に対応しなければいけないと考えています。

コミュニティバスが毎日運行できない理由は何か。【公共交通】

(市) 2台で動いているため、毎日運行するには1台増やす必要があります。

犬山市ではもりのまちを進めているが、今井の地元は全然うれしくない。若者が今井に住みたいと思えるまちづくりをしなければいけない。そのためには、工業団地の整備、道路の整備が必要である。市はこれまでに今井のために何をやってきたのか。これからは前向きに犬山市の地図を広げてほしい。今井地区は市の面積の3分の1を占める。今井地区の人口を市議員が選出できるくらいの規模にして欲しい。周辺地区は開発されるので地区内に車は入ってくる。5ヵ年計画には道路と工業団地、目標人口で千人くらい増やすことを取り上げて欲しい。【工業】【道路・橋りょう】

(市) 今井地区では、今井パイロットにおいていろいろな協議はあるものの開発が実現していない状況です。工業団地は、第1次で楽田地区、第2次で高根洞地区で進めてきました。今後は、第3次を進めていく必要があり、平成20年度には適地調査を行っており、総合計画や都市計画マスタープランにも位置づけて進めていきたいと考えています。

今井地区を取り巻く言葉に「里山」があるが、「里山」という言葉は気に入らない。「里山」は山であり、今井地区は「山里」である。今井は山に埋もれてしまって寂しい感じがしてしまい、「里山」という言葉をまず排除して欲しい。市全体ではそうはいかないかもしれないが、「里山」よりも「山里」を大切にすイメージを犬山市に作って欲しい。山も大切だが、それよりも人、村を大切にし、これからは「山里」づくりを前面に出して欲しい。【全般】

工業団地は、今まで国定公園の網があるので半ばあきらめていたが、焼却場建設の話があった時に市から西山は開発できると話があり、まちづくり委員会で検討し、将来的に若い人を増やすために西山を開発して工業団地を作ろう、県道を1本村の中に通そう、可児から名古屋行きのバスを通そうと考えた。また、中線を伸ばして可児につないで欲しい。【工業】【道路・橋りょう】【公共交通】

今井パイロットは無農薬などの施設園芸団地としていくことで、日本一の農業施設団地になるのではないかと。【農業】

通学は中学生だけでなく高校生もいる。バスは学校だけでなく名古屋に行くために駅まで通して欲しい。【公共交通】

工業団地の前に100軒くらいの住宅団地を作って欲しい。【住宅・宅地】

(市) 西山での工業団地造成については、提案内容を聞きながら一緒に進めていきたいと思えます。今井開拓パイロットの利活用については、農業以外では開発ができない、参入業者もいない状況があり、今のご意見は良い提案であると思えます。若い人で就農希望もあるので、土地の活用について地元で意見を集約して協力して欲しいと思えます。

今井地区には公園がない。子どもが外で遊べる公園が1つは欲しい。【公園緑地・緑化】
今井小学校の児童は30数名であり、現状では増える状況も見えない。スクールバスの導入があれば、大きな団地ができて児童数が増える城東小学校から、今井小学校の良い校舎を活用して今井小学校の児童を増やすことを考えて欲しい。【学校教育】
池や川にビオトープが整備されたが、ほったらかしの状態であるので、維持管理をしっかりとしてホテルを今井の魅力としていきたい。【自然環境】

(市) 遊び場について、学校で遊んでいけないということはありません。シミュレーションでは、児童数は今後極端に減らないが、増えることもありません。大きな学校から児童を移す話も出ていますが、移動する相手の要望もありむやみに校区の線引きをすることはできません。また、犬山市では、小学校は地域コミュニティの核と捉え自由選択性にはしていません。高齢の方など学校を残したいという思いは強く、若い人を増やす方策を考えていくことが必要であると考えます。

(市) 公園は、区画整理や団地開発などで一定の整備を行うなどして、市内に都市公園とちびっこ広場をあわせて全体で140くらいあります。公園には避難所としての役割や防災効果もあり、健全な場所として多目的に人が集まれる場としても必要であると考えています。

田んぼを借りて街の人たちと一緒に米づくりをしている。街の方には米作りをしてみたい人も多く、その中には今井地区に移りたい人もおり、空き家を探しているがなかなか貸してもらえない。もちろん新築はできない。街の人で農業をやりたい人が住むための住宅を作ったり、受入態勢を作れないものか。他の山間地域で農業をやりたい人を受け入れている例はある。若い人には農業に魅力を感じる人も多く、今井地区はおいしい米がとれることで有名であり、それを活かして活性化したい。【農業】

国定公園の規制が多いので見直しができないか。他から入ってきたくても入って来れない状況になっている。風致地区などとして、高級な別荘地など環境の良い地域にして、社会的な地位の高い人を受け入れられたら良い。【市街地・景観】

(市) 国定公園の見直しは5年に1度であり、環境庁でも環境を守る立場から見直しは困難となっています。犬山市では先駆けて国定公園に指定され、その後環境庁ができて規制を厳しくしているのが現状です。規制の見直しはしていないが区域の見直しはしており、四季の丘などは特別地域から普通地域に見直しています。風致地区の話ですが、自然公園区域の中でも一つの敷地を広大に計画するなどした高級住宅地はできるが、造成などを行う企業側の採算性の問題で実現しないことが多いのが現状です。

コミュニティバスや公園の話は今井地区が未来永劫地区として存続していくことが前提となる。高齢化が進み人口が減ってしまい地区がなくなってしまうばどうにもならない。市街化調整区域で新しい人が移り住むことができないなど人口が増える要因がない。法律のたがをはずして考えないと、今井地区の未来はないのでは。【市街地・景観】

公園については行政協議会の中で煮詰まった話をしてしたが立ち消えになってしまった。総合運動公園の話が持ち上がっているが、公園のない地区は今井だけであり十分に考えてほしい。【公園緑地・緑化】

資料の今井の回答数がなぜ22名だけなのか。22名しか回答していない資料から何を求めているのかわからない。計画を具現化するにはさらに込み入った調査が必要である。その時は私にも調査をしてほしい。【計画策定】

子どもたちのために市に何を求めるのか、豊かな生き方をしていきたい。市として市民の豊かな生き方を考えて行政を行うことがどのようなことか、12年後を楽しみにしたい。今後、小学生も選挙権を持っていくので市議会議員もよく考えてほしい。【学校教育】

グラウンドやテニスコートなど運動施設が充実した市町も多くなっている。犬山市は高齢者の施設は充実してきたが、豊かな生き方をしていくため、子どもたちのためにもスポーツや文化などの充実も必要である。ボランティアでスポーツ少年団の世話をしている親もいるが、残念ながら環境整備ができていない。犬山市に生まれて、住んでよかったと思えるまちにしたい。不可能を可能にすることが行政の仕事である。【スポーツ】

CATVが引かれ、すべての小中学校に緊急地震速報が入るようになったが、今井保育園だけが入らない、付けてもらえないか。【子育て支援】

(市) 今井ではCATVが引かれてから行うということで、今年度中に整備するために予算計上しています。

(5) 池野小学校区

もっと土地を有効に活用すべきである。池野小学校区には、市街化区域内の農地で道路が整備されておらず何ともならない土地がある。都市計画税と下水道負担金が嵩むだけである。【農業】

(市) 0.5ha~1.0haの市街化区域内農地を利活用するための要綱を設けています。この条件に合致するのであれば整備は進む可能性があるため、一度担当課にご相談ください。

山林が多くそこに棲みつく猫が増えて困っている。特に、山際の民家に被害が出ている。地区外からの来訪者が餌をあげているようであるが、何か規制ができないものか。【環境衛生】

(市) 地域内で話し合って解決するしかないと思います。犬に対しては法的な規制があるが猫にはありません。市では、猫を捕獲する檻の貸し出しも行っていますが、動物愛護の考え方も大切であり、「何でもかんでも捕獲して解決する」というわけにはいきませんので、個人で何とかするのはなく地域として考えていくことが大切だと思います。

まちづくりに対しては、財政的なことも考えていかなければいけない。【財政運営】

(市) 昨年の秋以降、財政は特に厳しさを増しています。法人市民税を例にとれば、その大半は市内の大きな15社で半分くらいを賄っているが、平成18年度は13億5千万、平成19年度が13億2千万、平成20年度が10億6~7千万であったものが、平成21年度は5億円、平成22年度は3億円程度しか見込めません。犬山市全体の市税収入は過去多い時には130億弱でしたが、来年度は110億円程度。市収入が10億円減ると補助金や起債の関係で80億円の事業ができなくなる計算となります。ただ、厳しい状況とはいえ、市民の生活に関わる最低限の施策は必ず実施していきますし、その一方で補助金もなく借金もできない市独自事業については、実施を延期、分割して実施ということで市民に理解してもらうしかないと考えます。政権が交代し、地方の負担増の話も聞こえてくるが詳細はまだわからない状況です。

池野小学校は現在70名弱の生徒しかおらず、将来の展望のない教育は不安である。住民を増やさなければならない。都市計画法の規制があることは承知しているが、雑種地が点在しているのだから、市街化調整区域でも家を建てるようにすることはできないか。【市街地・景観】

第4次総合計画の構想、施策を振り返った上、第5次犬山市総合計画では整合性を図っていくことが必要である。どう総括していくのか。【計画策定】

(市) 第4次犬山市総合計画の51施策は進捗状況を検証し、その結果を踏まえ新しい第5次犬山市総合計画を作り込んでいきます。

小学校区の意見は意識調査の結果に集約されていると思う。【その他】

奥入鹿のキャンプ場への道が狭く、危ない。【道路・橋りょう】

入鹿池の汚れがひどい。外来魚の問題もある。【自然環境】

外食、買い物という点で犬山市は周辺の自治体に見劣りする。【商業】

小牧東インターをもっとうまく活用できないか。高速道路を使えば、名古屋へもすぐに行ける。こういう点を活かして人口を増加させる工夫はできないか。【道路・橋りょう】

(市) 名鉄や東濃鉄道が都市間を結ぶ高速バスを1日9～10本運行しています。西可児から、今井、池野、桃花台を通り名古屋を結んでいますが、PR不足もあり、犬山市内での利用が少ないと聞いています。こうしたPRをしっかりとすることで利用者を増やしていかなければならないと思いますし、商業の面においても、商工会議所などと連携して、拠点となる外食店を考えていきたいと思っています。

入鹿池を拠点としてまちづくりを進めてはどうか。入鹿池をもとに収入を生むような計画を考えて欲しい。【自然環境】

(6) 楽田小学校区

今のまちづくりについて、以前のまちづくりとの関連性はどうなっているのか。今までのまちづくり会議であった踏切問題について、楽田駅南100mの10号踏切の廃止が進められていると8月9日の小学校で説明を受けた。突然の話で踏切存続の署名活動を行い、近隣住民7～8割の署名をいただいた。高齢者が安全のために車の通らない今の踏切を使用しているにもかかわらず、地域住民の不便を強いることは困る。【道路・橋りょう】

企業と行政の官民交流会について提案したい。民は官を知り、官は民を知るということである。民間では異業種交流を行っている。いかにして税収を上げるかを考えないと事業は進められない。そのためには企業誘致。企業誘致すれば税収につながる。犬山は事業所が小さく新しい企業が増えてない。道路沿線に大口や小牧では増えているが犬山は増えてない。話を聞くと排水整備がうまくいかないと聞いた。道路整備や上下水整備がなければ企業は他所へ行ってしまう。なぜ犬山市は区画整理が遅れているか、地元の協力も得て是非進めていただきたい。【工業】

(市) 4月より商工企業振興課を設け、市もできるだけ企業訪問をしたいと考えており、4月以降15社程度の企業から話を聞いています。税収を増やすためにも新しい工業団地の整備を進めたいと考えています。楽田地区では工業団地を作り企業誘致してきましたが、今後も進めていきたいと思っていますし、排水問題については事実を確認し、対応することが今後の課題と感じています。市街化調整区域での区画整理については、現在は適地がない状況です。

4月に懇談会があった時、行政と住民の話し合いの場を設けてもらいたいと意見して、早速こういう場を設けていただいた。【計画策定】

里山のある楽田では環境問題も大切にしていきたい。【自然環境】

この計画が12年間という長い計画であり、市民の意見を聞いて時代にあった修正を含めて柔軟に進めていただきたい。【計画策定】

(市) 12年間の長期計画であり、時々々の経済情勢、社会情勢に応じて基本計画については、一定年度ごとの検証や見直しを行いながら計画を進めていきます。

鉄道・バスの公共交通網の整備として、中央病院へはコミュニティバスは通っているのか。通っていればそれもサービスであるが、駅を設置すれば利用があるのではないかと。

【公共交通】

身近な生活道路の整備として、排水路の付いていない道路を地域だけでなく、積極的に行政が調査して整備をお願いしたい。【道路・橋りょう】

(市) コミュニティバスは、中央病院を通り犬山駅に行くルートがあるが、現在1日おきの運行であり利便性の向上を図っていかなければならないと考えます。新駅については、都市計画マスタープランに位置づけができれば、市民の皆さんと協議していけるのではないかと考えています。

将来を見据えた子どもたちの育成について、人づくりが第一である。楽田にはコミュニティがあるので、それを活かしてもっと人づくりを進めたい。地域づくりとともに、子育ての核として児童センターを作るなら、利用しやすい施設にして、それを核に子どもたちの居場所づくり、人づくりをお願いしたい。ごみ問題も人がしっかりしていれば解決する。【子育て支援】

学校関係の提案として、犬山では西小、東小、東部中は新しいが、全体的に学校が古い。耐震化は進んでいると思うが、羽黒小は建替えが計画されていると聞くが、市全体の計画を総合計画に是非位置づけてほしい。特に、楽田小学校の校舎は羽黒小について2番目に古いと聞くので、是非計画に入れて欲しい。【学校教育】

(市) 羽黒小は全面的に改築していく予定ですし、その他についても、現在、全部の学校の校舎の構造耐力調査を進めており、建設年度ではなく強度の弱いものから改築・改修する予定です。

資料5ページに「都市基盤の整ったまち」を希望する市民が31%と出ているが、楽田駅東の計画はどうなっているのか。また、楽田駅への道路取り付け問題はどうか。住民の意見を聞かずに計画が進められている気がする。【市街地・景観】

(市) 楽田地区では平成20年度より、まちづくり交付金により整備を進めており、駅前広場の整備を計画し、現在、公安委員会と協議し、協議が整った段階で、近々住民の皆様には計画案をお示し出来ると思います。

身近な生活道路の整備、幹線道路の整備と書いてあるが、誰もが望んでいる良いことは積極的に進めてもらえば良い。しかし、今現在使っている道路が新しい道路整備に伴い廃止されることに対しては、あえて苦情を言いたい。大口桃花台線の整備に伴い楽田駅南にある10号踏切が廃止されると聞いたが、今ある道路を存続するよう要望したい。住民が不自由になることはやめて欲しい。【道路・橋りょう】

(市) 今回の踏切廃止の計画については、鉄道事業者との協議で、安全確保の点での運輸局からの指導であった内容です。

(7) 城東小学校区

城東地区には3つの団地ができ、子どもの数が急激に増えている。と同時に、犯罪や青少年のいたずらが増えている。そうした状況を防ぐには、コミュニティを形成し人の輪ができるスポーツが良いと思う。その他には子どもたちのふるさとづくりができれば良いと思う。ふるさとづくりとは、自分がいたふるさと(川・広場)の時間を大切にすることである。自然は、感性・人格を磨くのに大変優れている。以上の点から、善師野地区全体で集まることのできる規模の広場があれば良い。また、拠点づくり=地域のつながりの拠点として、善師野公民館を地区の自主運営にできないか。

【公園緑地・緑化】【市民協働】

(市) 善師野公民館は、南部公民館をはじめ市内に数カ所ある公営公民館(=行政が運営主体)の1つで、現在は、シルバー人材センターに委託している管理運営を、地区で実施したいという要望は既に聞いています。現に善師野公民館は地元地区に密着した施設であり、運営主体についても今後検討していきます。

城東地区の児童数が急激に増加し、城東小学校は運動場が狭くなっている。どうにかならぬだろうか。【学校教育】

(市) 物理的なことであり難しいです。グラウンドを少しでも広く使用できるよう壊れた遊具などを順次撤去しましたが、現在ではこれが限界です。今、児童数のピークを迎えているが将来的には減少していく見通しであることからご理解ください。

城東地区は自然が豊かで池も川も多い。しかしながら、市も苦勞しているが環境整備、草木の状況はひどい状況である。こうした状況に対応するには地域力をどう引き出すかが大切であり、地域力がなければ自然環境、水環境を保つことができない。【自然環境】高齢者と子どもが著しく増加しているが、こうした生活弱者がいかに安心して暮らしていけるかが大切である。城東地区は市内の他地区と異なり、前原、善師野、塔野地地区といった集落がすべて離れていることが特徴である。病院、遊び、食事など身の回りのことが自由にできる必要があり、今後はバス路線、道路整備は特に大切である。

【道路・橋りょう】【公共交通】

子どものふるさととして、地域の歴史や文化を子どもにどうやって継承していくかが大切である。そのためにも地域力が大切である。【市民協働】

第4次総合計画での計画内容の達成度に関心がある。この達成度をはっきりさせた後に第5次犬山市総合計画の策定を進めて欲しい。【計画策定】

(市) 城東地区は住民が大変協力的で、地域力が強い地区だと感じています。自然環境を市ですべて管理することはできませんし、今後さらに一層難しくなることから、市と地元と協力してどう管理していくかが大切です。県も国も地域の協力の下に環境整備を進めていくための制度を整えつつあり、既に犬山市でもそれらの制度を活用している例もあります。

城東地区では徒歩で買い物が全くできない状況になっている。市も協力して公設市場のようなものが誘導できないか。【商業】

(市) 犬山市でも、公共交通が不便なために駅前に引越す例もあると聞いています。公設市場の誘導は難しいが、その他の何かでも具体的に考えていかなければならないと思っています。

平成7年くらいに国、県、市が数億円かけてビオトープ事業を実施しはじめ、平成11年に地元でもビオトープ事業に関心を持ち活動をはじめた。平成11～15年には、ホタルの出る川、フナが生きる川など子どもが親しめる事業として業者と市が実施し、塔野地地区が管理、運営していた。当時は、年に2、3回草刈りを区で実施していたが、その後、里山学センターに管理が移り、それとともに地元からビオトープ事業に対する関心が薄れていったように感じている。また、区所有地を駐車場として市に貸しているが、区が管理していた頃は草木をきれいにしていたのに現在はそうでない。是非再度検討して欲しい。【自然環境】

予算が厳しくなる中で、12年後に今の子どもが犬山市やこれから策定する総合計画をどう評価するかが大切である。そのためには、総合計画の中で定量的な目標と予算の見通しが必要である。定性的なものはどのようにでも解釈できてしまう。できることなら、各地区別に予算をどう投下するかも示して欲しい。どの地区の住民でも同じように税金を払っている。また、税金を多く納めている人、今働き盛りの30代、40代の人をきちんと把握し、総合計画に反映していかなければいけない。【計画策定】【行政運営】
今井開拓パイロットを桜の園としたい。また、栗栖や城郭に山桜を植えたらどうかと思う。【公園緑地・緑化】

(市) 予算の裏付けが必要なのはもちろんですが、財政状況の先行きは不透明です。とはいえ、市民のニーズに応えられない、というだけではいけないので、それをフォローするのは地域であると考えており、第5次犬山市総合計画にも盛り込んでいきます。こうした場に参加して発言してもらうことこそ地域力を高める1つの方法ですから、是非、周囲の人にも呼びかけてもらいたいと思います。将来人口についても単純推計では人口は減少していきます。市では、自主財源の確保のため、地域力を高めるための組織体制を今年4月に整え、具体的な取り組みを進めている最中です。

幹線道路は整備されつつあるが、一本はずれると整備されておらず高齢者には危ない箇所も多い。土木常設員を通じて要望しても、法律の基準を満たしていないことを理由に舗装されないことが多い。法律だけでなく利用者の立場に立って整備を進めて欲しい。【道路・橋りょう】

(市) 幹線道路だけでなく、生活道路の整備も重要であると理解しているので、新しい総合計画にはそうした内容も盛り込んでいきたいと思っています。

(8) 犬山西小学校区

総合計画と実施計画があり、毎年実施計画を策定している。4次の評価を踏まえて検討すべきだが未だに公表されていない。市民に公表しないのはいかがなものか。

【計画策定】

総合計画はあらゆる計画のトップにある。市長のマニフェストをはじめ具体的な計画が変わっている。総合計画の位置づけ、国の施策、全総、県の地方計画が第4次総合計画書の頭にあると今の計画書に書いてある。社会の変化で計画の方向付けが変わっている。国の計画も廃止されている。県でも平成13年に10年計画を策定し、前後半に分けて中間見直しを行い、先般後半の基本計画が公表された。犬山市の計画も国、県があってのものであり、県の10年計画にあわせて5年の前後半にすべきである。

【計画策定】

- (市) 実施計画は今も継続して毎年実施しています。第4次総合計画の検証は11月中旬にホームページで公表し、広報でも特集として掲載していきます。400以上の項目があるので広報では主要なものの検証結果を掲載していく予定です。
- (市) 検証があって、伸ばすべきものは伸ばす、改めるべきものは改めるのは当然のことです。第4次総合計画の検証結果は、審議会には出して検討しており、市民の方々にもお知らせしていきます。個々の計画には、総合計画の内容を当然網羅していくものであり来年度から反映していくこととなります。12年間が長いということについては、愛知県の政策の指針は10年程度の将来を見据えて、真ん中で見直すことになっており、政策の指針にリンクするわけではありませんが、第5次総合計画についても、中間期に見直すことを考えています。国、県の施策との整合性については、市独自でできるもの、国、県の動きを見て行うものがあり、動向を調べながら第5次総合計画に反映したいと考えています。

12年間ではなく10年間にすべき、検討して欲しい。12年間では内容と時代がずれていってしまう。【計画策定】

犬山西地区のまちづくりについて、この地区は犬山市の市政で忘れられた町と思っている。少子高齢化など厳しい社会情勢の中、犬山市が他市町村からうらやましがられる町になって欲しい。子ども医療費は自慢できるものではない。6年生までが主流の中で恥ずかしい。うらやましがられる行政にして欲しい。【社会保障】

地域コミュニティの再生について、西地区ではコミュニティを設置するため頑張っているのが最重視するよう施策に取り上げて欲しい。国、県でもコミュニティの重要性を述べている。コミュニティ支援条例を制定して欲しい。【市民協働】

コミュニティの認定と支援について、補助金行政の中でコミュニティを認定しているが、会費を収めていることが認定の条件になっている。市の補助金と自治総合センターの助成金の2つがあるが、いずれも認定されないと受けることができない。全国でも会費をとっていないと認定しないという事例はない。会費をとってなくても立派なコミュニティはある。大災害が起きた時に市民を守るのは地域コミュニティである。【市民協働】

- (市) 県でも地域の力やコミュニティの重要性を謳っている。犬山市でも少子高齢化の中、地域の安全安心を守ることは行政だけではできません。子どもの見守りや地域の防災活動などについても地域の自主的な活動をお願いしたいと考えており、これは第5次総合計画にもしっかり位置づける必要があります。支援条例やコミュニティの認定については、そのような意見を受け止めて、考えて、進めていくべきだと思います。地域には、自主的に頑張っていたくため、住民同士がつながり、自分たちで会費を出していただくことも大事です。会費の考え方は昭和50年代から継続した犬山市の考え方であり、意見を参考にして条例、市政のあり方も再度検討しなければならないと思います。

コミュニティについても1つ。地域でできること、自分たちでできることを自分でやることは、市の財政を助けるものだが、市にはそのような考えがない。【市民協働】
地区内に2つの用水があり地域を分断しているため、地域のまちづくりが難しい。宮田用水は暗渠化しているが、木津用水は大規模な改修工事が行われたが開渠のままである。潤いのある川にはならない用水であり暗渠化を計画に進めていただきたい。

【治山・治水】

高齢世帯の増加が避けられない中、そのためには安全安心の前に、歩いて暮らせることがポイントとなる。犬山西地区は大規模な小売店がなく、扶桑町に頼っている。本町地区と西地区には高低さがある。西地区の中に生活用品を買える自立した商店を誘致するなり、既存店を支援するなり施策を入れて欲しい。【商業】

防災・防犯では、2本の幹線道路、中央道は犬山に入ったとたんに暗闇になる。犬山富士線は通学路であるが真っ暗で危険なため、街路灯を増やして明るくして欲しい。

【防犯・交通安全】

以前、地区の危険な施設や場所、地盤の悪い所や密集している所などを示した防災カルテが作られていたが見直しがされていない。コミュニティが設立されれば、まずカルテの見直しをする。最新版に見直してほしい。【防災】

- (市) 木津用水の改修は昨年度に完了しています。宮田用水は暗渠だが木津用水は基本的には開渠となっています。暗渠化は開渠の2倍の費用がかかりますが、公共用地や広場を生み出すことは各地の事例にもあるので検討したいと思います。
- (市) 歩いて暮らせる安全安心なまちということで、小売店舗の誘致については他の小学校区でも提案が出ています。大規模店を郊外に誘致するとまちなかが衰退します。まちなかの商業は高齢化し、店舗数も徐々に少なくなっています。市としてはできるかぎりコンパクトシティを進め、まちなかに誘導する策が必要ではないかと考えています。イトーヨーカドーは全国で撤退の話があるが、話を聞いたところ、今後数年は残っていただけると回答を得ました。重要な施策ですが、市独自で店舗を構えるわけではないので貴重な意見として伺いたいと思います。
- (市) 安全安心のまちづくりに関して、街路灯や防犯灯については、総合計画に関係なく要望していただければ設置を検討し、明るいまちにしていきたいと考えます。カルテや防災パンフは改正時期もあるので地域の支援をいただきながら見直していきたいと思います。

街路灯については、犬山市ではほとんどが道路管理者に責務があるが、県はやる気がなく、市道についても警察は関係ないと言い、町内会で維持している。おかしいのではないかとというのが住民の意見である。街路灯は市で積極的に設置して欲しい。

【防犯・交通安全】

西地区は全域が市街化区域であり成熟した町である。しかし、それゆえにまちづくりが難しい。行政の中でも、楽田、羽黒、本町ではまちづくりが進められているが、西地区ではまちづくりの話しが出てこない。西地区には家内工業や金属加工業がたくさんあり、まちなかに数十の町工場がある。商工会議所の活動が目に見えてこないが、町工場の育成支援も第5次総合計画の中に入れて欲しい。【工業】

昨年、数年来の課題となっている名古屋水道の緑道化について説明があり、今年度から北から順に緑道化すると聞いたが未だに工事が始まらない。県の仕事ではあるが、いつから始まるのか。【公園緑地・緑化】

(市) 県の計画の中では進める話になっています。少し遅れているが今年度の予算もついており、順番に進めると聞いています。地元にも県から説明があると思うが、市としても確認してご連絡したいと思います。

西小学校と犬山中学校付近の散歩道に行く人が多いので、歩道橋化してほしい。
【道路・橋りょう】

防犯灯はほとんど町内会が設置している。防犯灯設置について条例や規約があるのか。警察には予算がないということだが、それで済ますことはできないので、市でやってほしい。【防犯・交通安全】

(市) 防犯灯と街路灯の区別はあり分りにくいですが、街路灯については道路として設置しており、今年は130基付ける予定です。通常は年に30基くらいしかできず、要望があっても各地区1基しか設置できない状況です。安全安心のまちづくりの中で、総合計画の中にも入れていくことが必要だと考えています。通学路の街路灯の設置についても今年度中にはやっていきたい。

コミュニティバスが走っている木津の信号から橋に出る道が唯一の生活道路であり、通学道路にもなっているのだが、工事をやっていてバスが通れない状況になっている。交通弱者が歩いて利用している。コミュニティバスと名乗るのであれば、地域を廻るようにルートを変更して欲しい。工事で路線を変えるのであれば、同じ地域の中に停留所を作って欲しい。今は木津ではなく600mも離れた上野に停留所が作られている。そういう点も第5次総合計画に入れて欲しい。【公共交通】

(市) 総合計画には交通弱者のための施策も示していきたいと思います。コミュニティバスについては不便もあり、現在検討委員会を設置し、弱者を助けるバスにするために精力的に検討をしていますし、来年には路線の変更もしていきたいと思います。

市役所の内覧会に行った。会議室を市民に利用してほしいということだが、1時間500円、800円と使用料をとるのはどのような考えなのか。無償ではいけないのか。

【行政運営】

(市) この考え方は、フロイデは指定管理者で運営しているが、会議室の貸し館業務が主要な業務であり、市役所の会議室を無償にするとフロイデの経営を脅かすことになり、均衡をとっています。消防署北出張所のある建物については、現在水道部がある1、2階については市民に開放し、登録になるが夜も含めて無料で開放する予定です。西庁舎も空くものの、現在は業務のために継続的に使うこともあるため、具体的な時期は決まっていますが、将来的には開放していきたいと考えています。なお、現在の庁舎についても、会議室を貸すことは目的外使用で使用料をいただくことに料金設定がされています。

「現在の庁舎」とは、旧庁舎を指しています。

新庁舎の内覧会に行き期待している。歴史まちづくり課があるが、歴史をはずしてまちづくり課にして、まちづくりのことをすべてやってもらう方が良い。まちづくりに対する提案・希望があれば、そこに行けば済むようにしてほしい。組織の部分で市民が利用しやすい窓口を作って欲しい。市民がこんなこととして欲しいと思えば、まず、まちづくり課に行くようにしてはどうか。行きやすい窓口を設けて欲しい。【行政運営】

(市) 歴史まちづくり課は4月の機構改革で教育委員会に属する課で、市長が、名前を聞いただけで中身のわかるもの、効率的なものとして設置しました。歴史とまちづくりが一体となり、城下町だけでなく市全体で歴史とまちづくりをつなげていこうというものです。市民の窓口としては市民相談室があり、今後はフロアマネージャーとして市全体の業務を把握しているものが1階にいて案内する体制ができるので期待して欲しいと思います。

上野橋の変則6差路の交差点の信号について、市の今後の考え方を聞かせて欲しい。【防犯・交通安全】

木津の信号は出口がない。信号の重要性は市長が県議会議員の時から言われていたことである。請願書を持ってきたが、どのように扱うべきかお聞きしたい。20年来問題はずっと引き続けている。【防犯・交通安全】

5次計画に関する大きな話ではないが、地区の真ん中に道路が作られている、町内を通る道が一般道路のように使われ、通過車両も多くなり、危険であり静かな環境も脅かされるため、見直して欲しい。【道路・橋りょう】

(市) 指摘の道路は高架でできるので通過車両が住宅地に入ることはありません。

第1次から第4次までの総合計画には、歴史資産、自然資産を枕詞に入れているが、第5次ではこの点を是非見直してほしい。これらのものは今後も大事だが、市民の生活の方が大事である。市民生活重視として、その後に歴史、自然としてほしい。【全般】

(9) 栗栖小学校区

木曾川架橋について、昭和56年から毎年要望しており、議会にも生命、財産を守る請願をしている。議長からは請願を採択したと通知を受け、国や県にも議会から要望が出された。第5次総合計画ではどのように対応するのか。【道路・橋りょう】

(市) この橋をどうするという事は総合計画の中では位置づけにくいですが、意見として受け止めておきます。

栗栖小学校の児童は20名前後で少なく、今後も存続していけるのか心配している。少子化、過疎化で人が減る。長期的な展望の中でも学校の存続を地元として願っている。栗栖、今井、池野などの山手と中心部は違い、全域が調整区域で簡単に家も建たない。人を増やすことは簡単ではないが、市の長期展望の中でそういったところをどのように計画していくのか。中心部だけを重点的にやっていくのも方法ではあると思うが、地域には愛着がある。行政のサービスには感謝しているがまだまだ十分でない。そのようなことを長期計画に反映して欲しい。【市街地・景観】

(市) 一定の定住者が住んでもらえるようにすることが重要だと思います。自然豊かな地域で住んでみたい人、のんびり子どもを育てたい人などに、田舎留学などとして一定期間住んでもらい、将来的には永住してもらうなどの施策も一案と考えています。

桃太郎公園は、かつて名鉄の公園、財団法人の公園として栄えていた。名鉄の業務見直しにより公園事業から撤退し、地元と行政と名鉄で協議し犬山市が引き受けて再生することとなったが、10数年が経ってもそのままの状態になっている。環境が素晴らしいことは貴重な財産であるが、放置しておけばジャングルになり整備しないとダメである。桃太郎公園は無料の公園であり、多くの人がキャンプ、行楽に訪れている。紅葉の来訪者に対して、道路や駐車場が不整備であり、犬山橋から栗栖につながる道路は歩道がなく危険な状態である。桃太郎公園は犬山市の観光の1拠点として財産である。ここを生かさないと犬山市の観光も伸びない。城下町は良くなっているが、犬山城と桃太郎公園をつなぐ道路も考えて欲しい。自然を活かした公園にしていきたい。

【観光】【公園緑地・緑化】

小学校の生徒、子どもが少ないことを一番心配している。私の子どもの頃は、栗栖小学校は1年生から6年生までで80人くらいいて活気があった。これからも栗栖を活気のある居住地にしたい。そのためには子どもがたくさんいた方がよい。静かな地域で子どもを育てたい人もいるが、栗栖に家を建てて引っ越したい人がいても調整区域では、他の地区から来たたくても家が建築できないために来ることができない。空き地は今もあるしこれからも増えていく。農家をやめれば畑や田んぼも空き地となり、そういう土地がこれからも増えていく。そのような土地を活用して建物を建てられないものか。夫婦で来れば子どもも増える。栗栖には良い小学校があり良い小学校の先生がいるので、十分に活用しない手はない。法的な問題もあるが良い知恵がないものか。子どもの多い暮らしやすいまちにしたい。名古屋の藤が丘から中心部までが30分で、栗栖から名古屋までも30分くらいである。【市街地・景観】

(市) 栗栖小学校の児童は33人いたが、今は18名、22年に16名になります。子どもたちがのびのびと学べる小規模学校ならではの良い点がたくさんあります。犬山の教育理念は地域の子は地域で育てるであり、個々人による校区選択は行っていません。栗栖小学校は存続していきたい、そのためには人を増やす工夫が必要であり、法的なクリアも含めて施策に取り組むことが必要であると思います。

一番大切なのはアクセスであり、道路を広くしていただきたい。いろいろな人に来ていただく、そして下水道も整備していただく、それで栗栖は大発展する。

【道路・橋りょう】【下水道】

犬山橋に数年前まで派出所があったが、なくなってしまった。栗栖の中にあるのが一番良いが、何か問題があって無理なのかもしれない。どうして犬山橋にあった派出所がなくなってしまったのか。犬山橋にあるだけでも安心である。派出所がなくなってから複数件の空き巣があると聞いている。もう一度できたら良いと思う。【防犯・交通安全】

(市) 各地域で安全安心なまちづくりが求められており、特に栗栖ではそのような要望が強いです。犬山橋の派出所がなくなったことは、警察行政の中で判断された移転であり、犬山市全体からなくなったわけではなく、上野地区に移転したということであると記憶しています。警察では巡回制度があるので、再度確認してこちらにはパトロールしていただくよう、警察にもしっかりと要望していきます。

学校の存続について、少子高齢化の中でどのような取り組みをしていけるのか。調整区域では栗栖に来たくても来ることができない。これは栗栖だけでなく、今井、池野も同じ問題である。農地を住宅に開発するなど将来に向けた展開が行政でできないか。

【市街地・景観】

(10) 犬山北小学校区

市内を廻っているとコミュニティバスの運行が少ないように思う。丸山地区には東ノ宮古墳があり、現在は京都に貸し出されているが神獸鏡が出土された場所でもある。こうしたスポットを観光ルートとして土日に走らせたなら良いのではないか。

【観光】【公共交通】

- (市) 犬山市では観光活性化を目指しており貴重な意見であると思います。現在、高齢者などの交通弱者の利便性向上を目的としてコミュニティバスを運行しているが、提案された観光目的で観光スポットを巡るバスも検討課題の1つであると考えます。
- (市) 観光スポットを巡るバスということでは、秋に名鉄が犬山遊園駅を発着として紅葉バスを走らせています。現在まちなかに駐車場が少なく、郊外部に駐車場を設けそこからまちなかへバスで送迎するようなことも検討していきたいと考えています。
- (市) 三角縁神獸鏡は犬山から出土したもので、現在京都に保管されているが、返還にあたっては保管用の施設づくりが必要になると考えています。東ノ宮古墳の指定地域を広げることにより、この施設用地を確保していきたいと考えます。

中学生まちづくり部会でどのような意見が出されたのか教えてほしい。【計画策定】

- (市) 詳しくはホームページに掲載されているが、イオンのような大きな商業施設があれば良いという意見や犬山城周辺のにぎわいづくり、ワン丸をもっと使って全国に広げていく、スポーツができる体育施設を作って欲しいなどという提案がされました。

アンケートで下水道の満足度が高いと出ていたが、接続されていない家庭が約半数あり、自家浄化槽から垂れ流している。その結果、側溝からの臭いがひどい状況である。こうしたことを改善するため、下水道への接続が進む施策があればと思う。【下水道】

- (市) 下水道は下流部から整備してきまして、犬山北地区の接続率は68%となっています。市全体では85%となっており、全体から見ますと犬山北地区の接続率は遅れている状況です。この理由としては、城下町地区は間口が狭く、奥行きが長いという敷地形状から、建物が隣接し、家の下に下水道を布設するケースが多くなり、現実的には接続は建替え時になること、高齢者が多く接続は経済的に負担が大きいという問題などが挙げられます。なお、下水道接続に対する個人への補助金は公平性の問題から難しいです。

あるまちづくりは23年前から計画が進められている、時期を区切ってここから第4次総合計画、ここからは第5次犬山市総合計画というのでは前に進まないのではないか。

【計画策定】

犬山祭りの時に知人を案内して、犬山は素晴らしいまちであると評価をいただいた。ただ本当に良い古いものを残さず、昔風のまがいものになっている所があることが残念と話していた。成瀬家の別邸も素晴らしいものだが、こうした良い本物を残していく必要がある。【歴史・文化財】

愛知県には県営の博物館がないが、犬山市に博物館を作ったら良い。【歴史・文化財】

- (市) 文化財保護の部署や都市整備部のまちづくりの部署などを一体化し、トータルでまちづくりを進める体制を作りましたし、今後も本物の良いまちづくりを進めていく必要があります。
- (市) 博物館のご意見については、県博物館を犬山市に誘致したいというご提案として受け止めさせていただきます。
- (市) 計画づくりにあたっては、長期的な展望のもとに検討する必要があります。第4次総合計画を検証し、犬山の強み弱みを分析しながら12月15日の広報で出していく予定で、第5次犬山市総合計画では中間年次での見直しを行うことを予定しています。

全市のバランスという話はあるが、サンパークの跡地の問題は市長にも要望を出した。テニスコートも多くあり地域で親しまれた施設で是非残していけたらと思う。【観光】
大きな店が欲しいと中学生から意見があったということだが、われわれは歩いて買い物ができる店が欲しい。残念ながら現在そのような場所がない。観光まちづくりとあわせ、生活できるまちづくりを進めて欲しい。【商業】

- (市) サンパーク犬山については残念ながら1回目の入札で応募者がありませんでした。こうしたなか地域の住環境を守るために、住宅地区としての用途変更の地区計画を市から提案させていただいたが、住民の方は新しいルールは必要ないというご意見でしたので、現在は地区計画を変更しない方向で考えています。

日常生活への提案として、高齢者と中学生が交流するため、中学生の登下校時のあいさつ「HF(ハロー、ファイン)」を行って欲しい。【市民協働】
歴史ある観光地での提案として、「見る」「食べる」「休む」の3つのうち、「休む」を充実させて欲しい、休憩する椅子を設けることでホスピタリティも上がるのではないかな。
【観光】

- (市) あいさつは基本的なことであるが、現在では大人もできない人がいる。中学生にあいさつを身に付けさせるのは非常に良いことだと思います。

計画づくりにあたって、犬山まちづくり会社などの民間の団体は入っているのか。
【計画策定】

(市) 犬山まちづくり会社には現在のところアドバイスはもらっていないが、今後アドバイスをもらっていきたいと考えています。

高齢者にやさしいまちづくりとして、独居老人が増えるなか宅配給食のサービスの必要性を感じる。犬山市では行っているのか。【高齢者福祉】

(市) 高齢者向け食事の宅配サービスを以前より行っており、地域での見守りサポートにつなげていきたいと思います。また、安否確認のため牛乳の配送などを行っているが、最後は地域コミュニティを充実し、地域で見守っていくことが重要です。

市のまちづくりの方向は、観光主体か、それとも地域住民主体かどちらで考えているのか。【全般】

地区の商店は60軒あったものが40軒に減ってしまった。【商業】

子どもが非常に少なく住みにくいまちになっているので、交通対策を充実させて欲しい。【公共交通】

本町通りが歩行者天国になっていたが住民には通告がなく、家に車を入れることができなかった。【その他】

(市) もちろん住民主体でまちづくりを進めていきたいと考えています。そのため、住民の満足度を重視し、総合計画の中ではこれを目に見える形で高めていきたいと考えています。

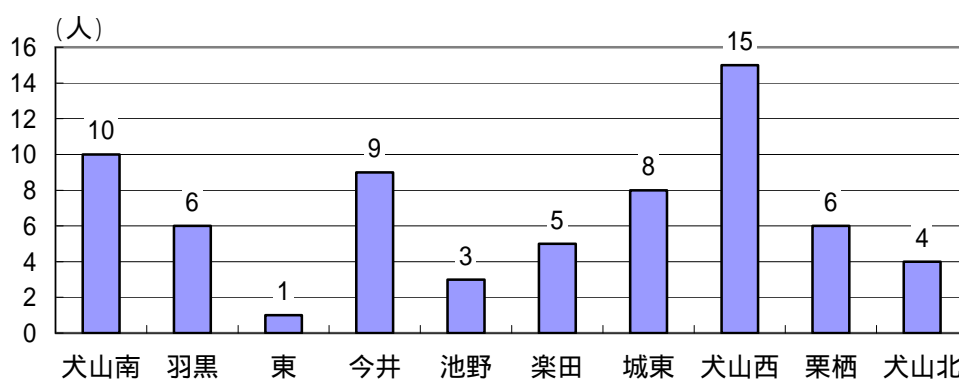
3. アンケート結果

(1) 回答者の概要

参加者の67人(当日欠席者1人を含む)

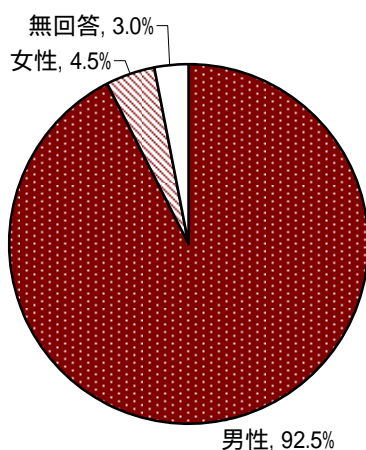
小学校区

小学校区別の回答数は以下のとおりです。



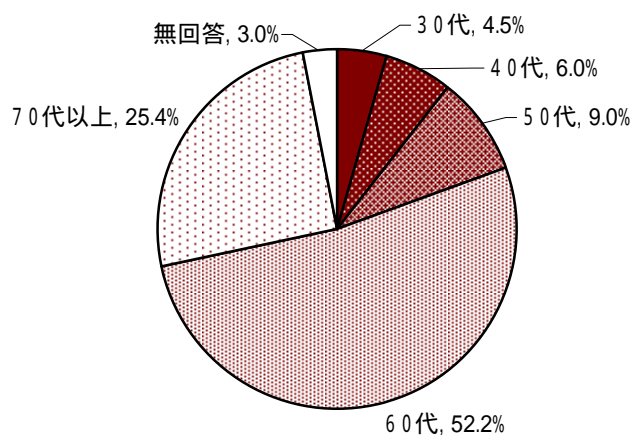
性別

男性が92.5%、女性が4.5%となっています。



年代

60代が52.2%と最も多く、以下、70代以上が25.4%、50代が9.0%と続いています。



(2) 提案・アイデア

犬山市及び地区の将来に向けて、60件の提案やアイデアをいただきました。

【歴史・文化財】

一般的に知られていない小さな歴史ある場所がわかるような、また、見られるように整備をする。

犬山城のルーツである木ノ下城と前防の徳援寺の再考も願いたい。犬山口駅スタートを考える次第。

【自然環境】

COP10が愛知県での開催が決定されたことにより、塔野地地区の地形を利用し、里山を守る方法を考えていきたい。

自然が多く残る楽田地区の環境保全を図りつつ、里山も残しつつ住みよい地域にしていきたい。

城東小学校区は、豊かな自然が残る里山地区です。これを活かしながら保存することが必要です。高齢化が進む中、この方たちをこの“里山の守り”として活躍してもらうことで、地域が元気になります。教育活動とリンクさせるだけの計画性を総合的に考えることで子どもを巻き込んだ元気で豊かなまちづくりの一助となるのではないのでしょうか。

城東地区・・・緑と里山を活かしたまちづくり。

【農業】

今井地区はおいしい米の里として売り出したらどうか。道の駅として特徴あるおにぎりや野菜の加工品、果物などを販売する。

休耕田について。

【商業】

コミュニティバスや店舗など高齢化とともに充実してほしい。

【工業】

工業団地の実現。

工業団地誘致について、既存の企業主との意見交換会を行い、一般市民ではわからない意見を聞いてほしい。

人口増加対策、工業団地誘致等提案しました。

【観光】

「観光、市外から犬山に来てもらうために（情報発信のやり方）」。犬山城以外で、犬山の目玉になるようなものはないか（例：犬山の偉人は誰か、伝えられている芸能は何か、食べ物は何か特徴のあるものを作ってはどうか）。

犬山市は歴史的な観光資源はあるが、他の観光地に比べて「食文化」が弱いように感じます。食文化を育てればよりよい観光都市になると思います。

【市民交流】

夏の盆踊りは大変良かった。

【市民協働】

安心安全な「まちづくり」を目指して西小学校区にコミュニティの設立を（西小学校区内にコミュニティセンター設立を）。

コミュニティに対する市の姿勢をはっきり示してもらいたい。会費をとってやっているのは町内会。

小学校区のコミュニティを是非作ってほしい（羽黒コミュニティの傘下でいいと思います）。

善師野地区・・・ 人口増加、子ども増に伴う青少年の犯罪やいたずらが多発、地域の和づくり（新旧）、スポーツの力「コミュニケーション広場づくり」、子どもたちとのふるさとづくり。人格完成には自然の感性が大切。その拠点づくり。善師野公民館の自主運営の方向に地域の老人、子ども、地域の活用。“自然と学習林づくり”

【学校教育】

小学校の運動会について、現在行われているふれあい運動会は、大人の意見が多く入っているため、子どもの自主性を阻害していると思われる。コミュニティ委員、スポーツ振興委員なるものが、ほとんどメインで動いており、子どもはそれに従っているのみである。昭和の時代の運動会のように、もっと子どもにいろいろ参加（運営を含め）させた方が良いと思う。競争させることも子どもには必要なことだと思う。施設等を作るのではなく、子どもの心を育てることが必要である（子どもの自主性、競争心などを育てる）。

善師野台、上切などの小学生の通学は1時間以上かかるため、通学路の途中（向野）に公衆トイレを設置して欲しい。

他地域との均衡ある発展。特に高齢化対策として若い人が住みやすい環境整備。道路整備、コミュニティバスの充実、中学生のスクールバス、今井小学校の複式解消に向けた取り組み。

見て、感じて、感動する子どもを育てる。子ども達にいろいろなことを体験する場を作る。退職者を中心にして自分の趣味を子ども達に体験させる。例えば、犬山の城下町を古地図を持って歩こう。犬山の建物等を写真におさめよう。和菓子づくりに挑戦するなど。

子ども達が元気に安心して暮らせるまちづくり。

【スポーツ】

週末にボランティアでスポーツ少年団（サッカー）で指導しています。近隣市町とサッカー交流をしていますが、緑地公園だけではグラウンドが不足していると感じます。名証グラウンドも使えなくなると聞いていますので、スポーツ環境（グラウンド整備）をお願いします。

【高齢者福祉】

高齢者の比率が増えて来ることが予想されます。（1）高齢者支援ネットワーク作り
（2）高齢者が「いきいきと生活できる」健康増進策の普及。

【治山・治水】

木津用水に蓋をして下さい。5次総計で方向付けしてほしい。

【防犯・交通安全】

この地区は子どもが多いので、安全パトロールをやると良い。

市営住宅内の街灯が切れても市で面倒をみないことはおかしい(町内会で手配している)。

住み良い明るい町づくりが基本であれば、防犯灯の設置を市の予算で早急に設置して下さい。

要所要所に点々と等間隔に外灯を設置して明るいまちづくりを望む。

【医療】

犬山市に総合病院の充実が必要。高齢者対策の充実。

癌の死亡率 32～33%を下げる。

【市街地・景観】

安心して暮らせる町づくりの計画の中で各地域、各町内などで困っていること、直して欲しいと思っている小さな問題点の汲み上げが必要ではないか？ 忘れられた地域があることを認識して欲しい(救急車、消防車の通れない所に私有地を生活道路として生活している家 10 数戸もある)。

産業活性化のためにも、税収底上げのためにも、橋爪・五郎丸地区のまちづくり戦略を市としてももっと重要視すべき。犬山全体のまちづくりにとっても重要。橋爪・五郎丸は郊外ではなく、中心であるという考えを持つべき。地区計画推進、公園(多目的広場)整備、冠水対策、高雄橋爪線整備など市街化区域内整備の戦略。

41号沿線土地利用など市街化区域に隣接した調整区域の整備、戦略が必要。

小学校区の特徴(学校の特徴)を生かした町づくりを。

早急に駐車場誘致を！

法の網の解除 今井の今までを見て。

【道路・橋りょう】

他地域との均衡ある発展。特に高齢化対策として若い人が住みやすい環境整備。道路整備、コミュニティバスの充実、中学生のスクールバス、今井小学校の複式学級解消に向けた取り組み。

塔野地地区内の東西の道路は完成をみたが、南北道路の早期実現が望まれる。

バイパスの早期建設の実現。

楽田小学校周辺の道路網の整備、一方通行にしたらどうか。私は小学校の裏ですが、駅の方へ出たことがない(理由：踏切、若宮の信号が混むので)。

道路の拡幅。

【公共交通】

上飯田線五郎丸駅の設置を提案します。昭和40年代に廃駅されたが、当時と比べ、近隣の人口が増加している。犬山駅と羽黒駅に乗降客が集中している。犬山中央病院の利便性が重要・必要である。五郎丸、橋爪中、ニュータウン、日生住宅、羽黒の一部の市民の利用が見込める。観光地の駐車場確保が難しい中、「パーク&ランド」の利用促進に期待できる。仮に体育館がこの辺に建設されれば、必要性はさらに増すと思う。夢ですが、夢も第5次総計の中に入れてほしい。

コミュニティバスや店舗など高齢化とともに充実してほしい。【再掲】

他地域との均衡ある発展。特に高齢化対策として若い人が住みやすい環境整備。道路整備、コミュニティバスの充実、中学生のスクールバス、今井小学校の複式解消に向けた取り組み。

【公園緑地・緑化】

上坂地区の公園の遊具をもっと充実してほしい。住民からアンケートを取ると良い。自然遊歩道（名古屋上水道）のあり方、整備方法、トイレの清掃等考え直してほしい。

【住宅・宅地】

市営住宅（米野）の構想はどのようになるか、なんらかの形で示してもらいたい。他地域との均衡ある発展。特に高齢化対策として若い人が住みやすい環境整備。道路整備、コミュニティバスの充実、中学生のスクールバス、今井小学校の複式解消に向けた取り組み。

団地の実現（少子化対策）

（犬西コミュニティ創設準備室の提案書4ページの6.2の要望を補足する意味で）南三笠には市営中野住宅があります。築50年あまりで現在では当初の4割弱が居住している現状であり、空き屋は撤去されています。こうした状況で提案するものです。地方自治体が公営住宅事業を進めるためには財政的困難が伴うものです。国の住宅政策が個人（家族）や企業に頼るところに問題があるからです。しかし、今日格差と貧困が広がっている中で公営住宅の重要性は高まっています。こうした中で犬山市の公営住宅事業の方向性を明確に示してほしい。いずれにしても現状をみる時市有地の有効利用の観点から見て、公園等に有効利用・防災施設としての積極利用、当面として家庭菜園として利用。

【環境衛生】

小中学生の道路清掃等、公共施設の清掃等に協力させ公共心を養う。地域の清掃活動にも動員する。

当町会は、この5月に町内アンケートが取られました。その中で自衛隊各務原基地の飛行機騒音によるテレビ受信料の免除区域を拡げてほしいという要望を出したところ。犬山市の回答は「関係機関に要望をしている」との回答でした。私の知人（坂下、上野新町、木津白帝団地）からも「飛ぶなどと言わないが、小中学校の上は飛ばないで」の声を聞くところです。安全、安心のまちづくりを言うならもっと犬山市としても積極的な取り組みを願いたい。

【循環型社会】

10年後のごみ処理場を大口町に大型化する案。

【行政運営】

1.より具体的、デジタル表示で作成してほしい。2.歳入計画もはっきりと。3.若い世代が定着する施策を。4.縦割行政の改善を。

市民（一般市民、行政市民、企業市民）が利用しやすい、分かりやすい組織として「まちづくり課」の設置を検討して下さい。

今日は要望だけを受け付けていた。要望を聞いても財源がなければニーズには対応できない。審議会では、ニーズに対して財源の裏付けを考えつつ、ニーズの選択、優先順位の付け方をどうするのが重要である。この選択プロセスを公表してください。また、PDCA方法として市民意識調査の数値を採用するような説明だったが、これだけで施策評価を行うのか？限界がある。計画を策定する審議会を計画策定後も存続させ計画をモニタリングする仕組みを作してほしい。

【財政運営】

犬山市の税金対策の一環として、市広報の中に宣伝として、コマーシャル、企業PRの記事を載せたらどうか。

【全般】

「住民の生活、住民の満足度は」。住み良い町、安全で安心して住めるにはどうしたらよいか。日常生活における便利性はどうか。

市民の安全、安心について。